

# あおぞら

行方市 社協だより

No.33 2014.6.1

— 発行者 —  
社会福祉法人  
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地  
☎ 0299 (36) 2020  
FAX 0299 (55) 4545  
URL <http://www.yokattanet.jp>



一ニ三会チャリティもちつき大会 (詳細記事は P10)

P12

善意銀行・編集後記

P8-11

トピックス・お知らせ

P7

社協のさーびす⑤

P6

はじめての手話(最終回)

P5

いきいき長寿者紹介

P4

平成26年度予算

P3

平成26年度事業計画

P2

会長あいさつ

目次

## 会長あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会

会長 鈴木 周也

平成26年度第1回広報誌「あおぞら」を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より皆様方には行方市社会福祉協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今日の急速な少子高齢化の進行と家族機能の変化等により、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。利用者の福祉への需要も拡大・多様化し、ひとりひとりに合ったサービスが求められています。

今年度、「あなたが支えるふるさと なめがた」を基本理念とした地域福祉活動計画をひとつひとつ進めるなかで、特に障害者のスポーツ事業の普及や子育て支援事業の充実、災害ボランティアの設置などを中心に住民・行政・関係団体の協働のもと、取り組んでまいりますので皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 平成 26 年度行方市社会福祉協議会事業計画

社会福祉協議会は（社協）は、社会福祉法に基づき、すべての都道府県、市区町村に設置され、住民主体の地域福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて、住民の皆さんと共に考え取り組んで参ります。

## 地域福祉事業

- 高齢者福祉事業
  - ・給食サービス事業
  - ・介護予防事業
- 障害者（児）福祉事業
  - ・びっくり・発見・夏キヤンプ
  - ・のびのびサポート事業
  - ・盲人用録音物配布事業
  - ・障害者スポーツ大会参加者支援
  - ・心のサロンの
- 母子・父子福祉事業
  - ・ひとり親家庭事業
- 子育て支援事業
  - ・子育てサポート事業
  - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
  - ・ボランティア活動センターの運営強化
  - ・ボランティア講座の実施
  - ・ボランティアグループの育成・援助
  - ・福祉教育の推進
- 共同募金運動
- 歳末たすけあい運動
- 福祉関係団体の支援

## 相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金貸付事業

## 在宅生活支援事業

- 福祉機器（車いす等）貸出事業
- 福祉車両貸出事業
- 訪問歯科診療器具貸出事業
- 在宅リハビリアドバイス事業
- 在宅福祉サービス事業
- 軽度生活援助事業

## 広報啓発事業

- 広報誌「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営

## 介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

## 障害者総合支援事業

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

## 地域生活支援事業

- 相談支援事業
- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

## その他社会福祉関連事業

- デマンド型「ミニコミュニティバス（乗合タクシー）」事業

## 当事者団体支援事業

- 行方市ボランティア連絡協議会
- 行方市老人クラブ連合会
- 行方市身体障害者福祉協議会
- 行方市遺族会



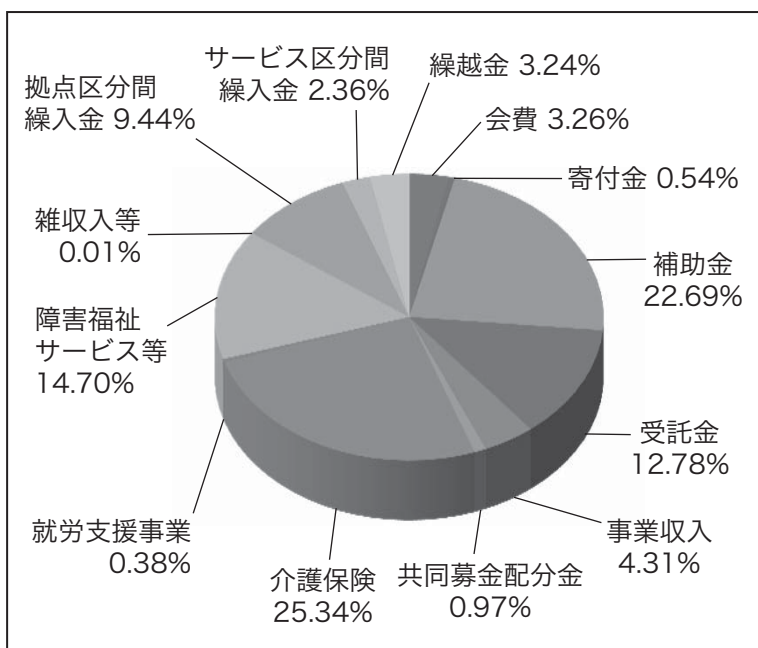
# 平成26年度行方市社会福祉協議会予算

平成26年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決されました。住民の皆様からの会費や介護報酬のほかに、市からの補助金・受託金や共同募金等で構成され、様々な福祉事業に役立てられます。

## 一般会計 319,608,000円

### 収入

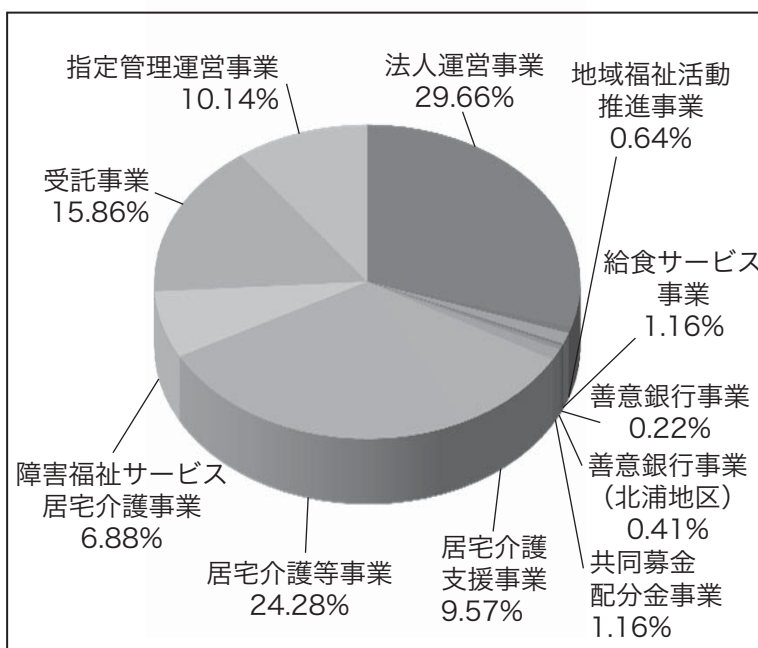
(単位：千円)



会費	10,410
寄付金	1,710
補助金	72,508
受託金	40,834
事業収入	13,764
共同募金配分金	3,110
介護保険	80,989
就労支援事業	1,213
障害福祉サービス等	46,992
雑収入等	17
拠点区分間繰入金	30,169
サービス区分間繰入金	7,527
繰越金	10,365
合計	319,608

### 支出

(単位：千円)



法人運営事業	94,788
地域福祉活動推進事業	2,059
給食サービス事業	3,721
善意銀行事業	711
善意銀行事業(北浦地区)	1,312
共同募金配分金事業	3,711
居宅介護支援事業	30,598
居宅介護等事業	77,604
障害福祉サービス居宅介護事業	21,995
受託事業	50,687
指定管理運営事業	32,422
合計	319,608

# 100歳長寿者紹介

## 岡里サツさん 100歳（行方市山田）



今季の寒かった冬が遠い昔に感じられ、歩くと汗ばむよ  
うな、今年初めて夏日となっ  
た日に取材にお伺いしまし  
た。

岡里さんは行方市行戸で11  
人兄弟の4女としてお生まれ  
になりました。22歳の時にご  
結婚されて今の生活の礎を築  
かれたそうです。現在は4世  
代、8人家族でお住まいです。



岡里サツさん

日課についてお伺いしました。「毎日30分の散歩  
をしているよ。行きは良いんだけど、帰りが坂道でね。ちよつと大変。」と笑って答え  
てくださいまし  
た。

民謡が大好きで、以前はよく踊りをしていたという岡里さん。「今は踊りはしていませんけど、歌ってはいるよ。テレビでも歌番組を見ながら、一緒に口ずさむことがあるね。」と教えてくださいました。

長寿の秘訣についてもお伺いしました。「規則正しい生活が一番かな。あと、若いときにたくさん歩いて足腰が鍛えられたのが良かったのかもしれないね。今では考えられないことだけど、当時は女性が自転車に乗ったらへおてんば」だなんて言われてね。だからよく遠くまで歩いたよ。それに、ひ孫と遊んでいるのもいいのかもしれないね。元気をもらえるからね。」とおっしゃっていました。

今回の取材では息子さんご夫婦も同席してくださり、サツさんを中心とした笑いの絶

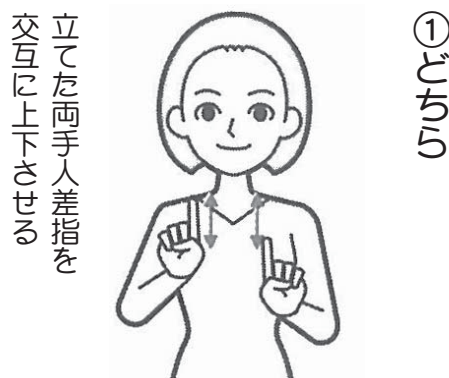
えない時間を過ごさせてくださいました。互いが互いを思いやる優しいまなざしがとても印象的で強く心に残りました。そしてそこにはゆっくりとした時間が流れ、決して気温のせいだけではない温かさを感じました。もしかしたら、それが最大の長寿の秘訣かもしれないですね。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。



# はじめての手話 (最終回)

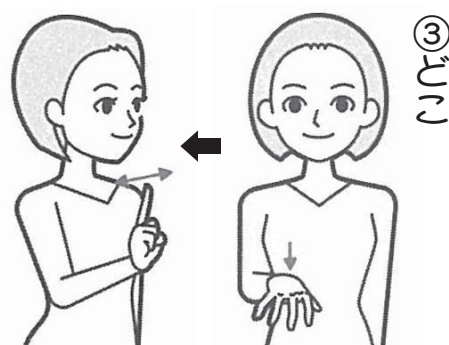
24号から掲載してきましたのはじめての手話ですが、今号で最終回を迎えることになりました。これまであいさつ、感情表現、家族など様々な手話をご紹介してきました。手話を身近なものとして感じていただくことができたでしょうか。最終回の今回は問いかけの手話をご紹介します。ぜひチャレンジしてみてください。



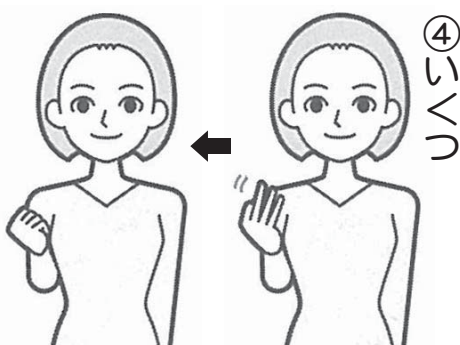
① びびり  
立てた両手人差指を交互に上下させる



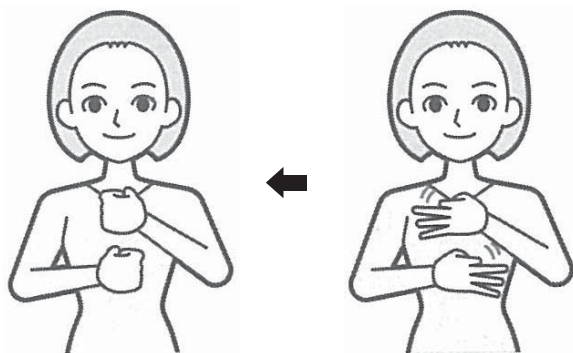
② なげ  
左手掌の下を右手人差指でくぐらせて前へ出す



③ ぶん  
右手人差指を立て、胸前で左右に振る  
右手5指を折り曲げ、指を下に向けて軽く下ろし、



④ ぶん  
5指を折って握る  
右手掌を上に向け、親指から順に折り、



⑤ いっ  
両手を上下に置き、同時に親指から順に折り、  
両手の5指を折って握る

※問いかけるときは特にしぐさや顔の表情などが重要になってきます。問いかけていることが相手に分かるように心がけてください。

### 市内において活動している手話サークル

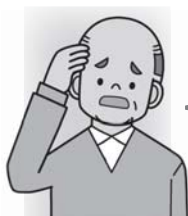
みんなの手 (麻生地区)、相生会 (北浦地区)、<sup>あいあいかい</sup>ほたる灯 (玉造地区) があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問い合わせ 地域福祉係 ☎0299 (36) 2020

## 社協のせーびす⑤

## 乗合タクシー事業

「交通手段がなくて外出や通院が思うようにできない」そんなことを思ったことはありませんか。そんなお悩みを「乗合タクシー」が解決します。ぜひご利用ください。



**Aさん:** 買い物や病院に行きたいのですが、最近は車の運転に自信がありません。家族と一緒に外出しようとしてもなかなか時間が合わなくて……。何か良い方法はありますか？

**社協太郎:** 乗合タクシーをご利用なさってはいかがでしょうか。



**Aさん:** それはどういったものでしょうか？



**社協太郎:** お客様の要望に応じて指定の場所から目的地までお連れする公共交通サービスです。事前に簡単な登録が必要になります。登録は社会福祉協議会もしくは市役所（麻生・北浦・玉造）の窓口で行えます。



**Aさん:** 料金はいくらですか？

**社協太郎:** 片道500円です。事前に利用券を購入していただきそちらでの支払いになります。タクシー車内での購入も可能です。



**Aさん:** その他に気をつけることはありますか？

**社協太郎:** 運行は行方市内のみです。また、乗り合いですので到着時間は前後します。時間に余裕をもってお出かけください。



**Aさん:** わかりました。今度利用してみたいと思います。



※土、日、祝日、年末年始は運休です。

※交通事情等により指定場所の変更をお願いする場合がございます。

※混雑状況によっては日時の変更をお願いする場合がございます。

お問合せ 総務企画係 ☎0299 (36) 2020

## 話してみよう! 今とこれからのボランティア ～グループディスカッションで意見交換～

3月8日(土)に麻生公民館において、行方市ボランティア連絡協議会全体研修会が開催されました。講師に常磐大学ヒューマンサービス学科教授池田幸也先生をお迎えして「話してみよう! 今とこれからのボランティア」と題した講演をいただいた後、グループに分かれディスカッションを行いました。初めての試みということで、最初は多少の戸惑いが見受けられたようでしたが、時間が過ぎるにつれ活発な意見が飛び交いました。参加者からは「いろいろな意見があって勉強になった」「ボランティアについて違った角度から考えることのできる良い機会になった」「また開催してほしい」などの感想が聞かれました。



常磐大学  
池田幸也 先生



グループ代表者の発表



グループディスカッション

## ◇ 老人クラブへ加入してみませんか ◇ 全国老人クラブ会員百万人増強運動について

行方市老人クラブ連合会 会長 大久保 守

さわやかな初夏の季節、皆様におかれましてはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび老人クラブの上部団体である全国老人クラブ連合会において、創立50周年を記念して会員百万人増強運動を展開することになりました。全国の会員数は平成10年に887万人であったのが、平成25年には650万人まで減少してきています。行方市老人クラブ連合会といたしましても、地区会長さんたちと綿密に連携をとりながら加入促進活動を実施していきたいと思っております。

行方市老人クラブ連合会では「いきがづくり」「健康づくり」「仲間づくり」「地域づくり」の4つを基本理念として活動しています。老人クラブでは高齢者が培ってきた人生の経験、豊富な知識を活かし仲間と一緒に社会に奉仕し、生きがいを見出していだけると思います。これからますます長寿社会は加速していきます。高齢者の皆様が楽しくいきいきと過ごせる社会づくりの一翼を老人クラブの会員として担ってみませんか。



お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020





## 趣味を生かして被災地支援

～ぬくもりをバックにこめて～



土子とよさんは趣味を生かした被災地支援を行っています。もともと裁縫が趣味でバッグやエプロン、アームカバーなどを作っていたそうです。知り合いから「被災地で必要としているよ。送ってみては」との話を聞いて、今までに60個ほどのバッグを送ったそうです。「縫い物が大好きで、気が付いたら1日中ミシンの前にいることもしばしば。自分の作っているバッグが人の役に立つと思うとすごく嬉しい」とおっしゃっていました。



被災地から届いた手紙



寄贈したバッグの一部

## 想いよ、届け!

～チャリティー収益を東日本大震災義援金に～

3月1日(土)に麻生藩家老屋敷記念館において、文化遺産地域活性化推進事業合同発表会が開催されました。これは、地域の伝統文化(舞踊、篠笛、茶道)を子どもたちに継承していくことを目的として実施されており、今年で3年目を迎えたそうです。

今回、その一環で実施したチャリティーの収益を東日本大震災への義援金としてお預かりしました。子どもたちから「被災地のために」という想いが込められた義援金は共同募金会を通じて被災地へ送られます。



# ひふみ 一二三会のチャリティもちつき大会

初夏を思わせるような5月4日、鯉のぼりが舞うふれあいランドにおいて、今年も恒例の一二三会のもちつき大会がおこなわれました。「一二三会の力もちだよ！杵つきもちだよ！」の呼び込みに誘われ、たくさんの人たちが集まってきました。昔とったきねづかとはばかり、はりきってもちつきをするおじいちゃん、我が子を前に初めて挑戦するパパ、そして手伝ってもらいながら一生懸命つく子供たち、それぞれにもちつきを楽しんでいました。頑張った



一二三会の皆さん

あとは雑煮、あんこ、きなこもちなど好きなもちに舌つづみ、あちらこちらに楽しげな家族の輪が広がっていました。

笑顔あふれるもちつき大会は連休の名物イベントになりました。

広報委員 菅谷 記



## 目指せ2020年! 東京オリンピック・パラリンピック



4月26日(土)、麻生運動場体育館において行方市障がい者スポーツ講習会が開催され、参加者、講師、ボランティアの100名を超える多くの方々が参加されました。

内容はボッチャ、フライングディスク、スポーツ吹矢の3種目でした。初めて体験される方も多くいらしたようでしたが、とても楽しんでプレーされていたのが印象的でした。

主催者の方は「講習会をきっかけとして、今後もスポーツを楽しんでもらえればありがたいです。また、2020年には東京でのオリンピック・パラリンピック開催が決定しました。今後もこのような講習会を継続的に実施し、行方市において障がい者スポーツがますます普及することを願っています。」とおっしゃっていました。

※ボッチャはイタリア語で木のボール、ボウリングのボールという意味。目標のボールに自チームボールを近づけるカーリングに似たスポーツ。パラリンピックの正式種目の1つになっている。



スポーツ吹矢



ボッチャ

# のびのびサポート参加者募集

## 夏休み、みんなで一緒に過ごしませんか？

実施日：平成26年 7月28日(月) 29日(火) 31日(木)  
8月 1日(金) 19日(火) 20日(水)  
21日(木) 22日(金) 28日(木) 29日(金)

時間：午前9時から午後4時まで

場所：行方市玉造保健センター

内容：屋内外でのレクレーション等

対象者：市内在住の特別支援学校等の児童・生徒

※処遇することが困難な医療を要する方を除く

定員：10名(定員を超えた場合は抽選により決定いたします)

締切：6月30日(月)

参加費：1,000円(1日あたり)

詳細につきましては、お問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299-36-2020



## 介護予防教室参加者募集のお知らせ

～いきいきとした毎日のために、みなさんも参加してみませんか～

**ふれあい広場** 簡単なゲームや体操を行っています。

太田地区	太田地区館	14:00～15:15	7/3	9/11
小高地区	小高地区館	14:00～15:15	7/9	9/17
大和地区	小牧集落センター	14:00～15:15	7/11	9/19
行方地区	西浦学習センター	14:00～15:15	7/16	9/24
麻生地区	麻生公民館	14:00～15:15	7/18	9/26

※6月は研修を実施します。



**いきいきゼミナール** シルバーリハビリ体操やゲームを行っています。

内宿ふるさとコミュニティーセンター	9:30～11:30	6/11,25	7/9,23	8/20	9/10,24
繁昌学習センター	13:30～15:00	6/6,20	7/4,18	8/22	9/5,19

**元気で～さ～びす館** シルバーリハビリ体操や文化活動を行っています。

手賀学習センター	10:00～15:00	6/10,24	7/8,22	8/5,19	9/9,30
----------	-------------	---------	--------	--------	--------

※お気軽にお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299(36)2020

## 皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

## 寄附金

預託者名	金額(円)	指定先
梶山伸夫	20,000	北浦
野原茂	10,000	北浦
佐藤栄	20,000	北浦
河野貞雄	20,000	北浦
千ヶ崎良治	30,000	北浦
村上昇	20,000	北浦
東山忠志	10,000	北浦
塙信寛	20,000	北浦
平山みどり	20,000	北浦
塙洋子	10,000	北浦
真家昭彦	20,000	北浦
箕輪光成	20,000	無指定
宮崎弘	20,000	北浦
玉造ロータリークラブ 会長 市村靖	79,000	無指定
高柳俊幸	10,000	北浦
石間幸男	20,000	老人福祉
浅野勉	10,000	北浦
東山博	20,000	北浦
戸大建設工業(株)	50,000	福祉一般
石橋幸一	20,000	北浦
大里常憲	10,000	北浦
宮川健司	20,000	北浦

## 広報委員

委員長 大軒光江	委員 高橋さち子
副委員長 石橋展子	山崎 實
委員 大久保守	横田 照実
菅谷京子	代々木千尋
磯山正子	野原 芳次

## 行方市善意銀行

平成26年2月1日から平成26年4月30日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。



玉造ロータリークラブ

## 編集後記

仲間が集まると夫の行動が話題になることがある。それは単なる愚痴であってそれ程深くなものではないのだが、大体些細なことからは始まり「言った、言わない」拳句の果てには以前のことまで蒸し返され、気まづくなり最後は黙って時を過ごす。全く思い遣りが無いのだから……。この様な事だが皆一様に経験者なので、最後は笑いのうちに次の話題に移っていく。

先日パソコンを開いたら、久しぶりに知人からメールが入っていた。知人は職業柄相談されることが多く、身近な話題からカール・ヒルティの要約が記されていた。「夫婦喧嘩をして収まりがつかない場合は分のある方が謝りなさい」「家庭は裁判所ではない。愛の最も大きなしるしは赦すという事です」と。

そして最後に「古い二人丑三つ時に起き出でて会釈を交わしてトイレをゆずる」と短歌が一首添えられていた。

老いた二人の様を想像しつつ、お互いに思い遣る優しさを感じた。

広報委員長 大軒光江